

地域づくり県土警察常任委員会資料

(令和2年6月10日)

- 県内の薬物情勢について 1
(刑事部組織犯罪対策課)

警 察 本 部

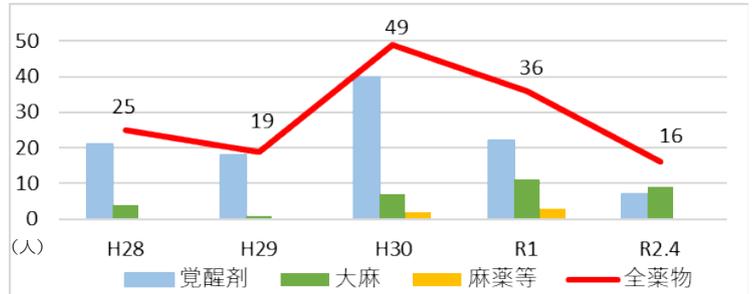
県内の薬物情勢について

令和2年6月10日
警察本部
(刑事部組織犯罪対策課)

1 取締りの状況

(1) 薬物事犯の検挙状況

年	H28	H29	H30	R1	R2.4
全薬物(人)	25	19	49	36	16
覚醒剤	21	18	40	22	7
大麻	4	1	7	11	9
麻薬等	0	0	2	3	0



○ 近年の検挙状況

- ・ 検挙人員の増減はあるが、例年、覚醒剤事犯の占める割合が最も高い。
- ・ 近年、大麻事犯の増加が顕著

(2) 押収量

押収量	H28	H29	H30	R1	R2.4
覚醒剤(g)	4.3	9.9	45.3	4.8	1.7
乾燥大麻(g)	69.3	7.7	326.4	314.8	4511.5
大麻草(本)	1	0	34	6	15



(押収した乾燥大麻、大麻草)

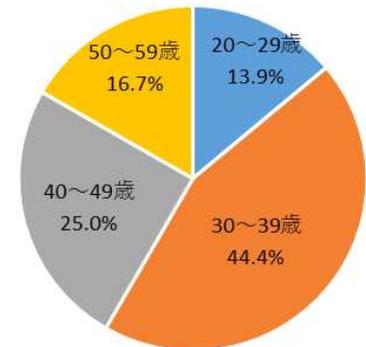
○ 近年の押収状況

- ・ 乾燥大麻の押収量が増加傾向 (平成30年、令和元年とも300g超え。令和2年1月に検挙した事件では約4.5kgを押収)

(3) 令和元年中の特徴

- 暴力団構成員等が根深く関与
 - ・ 検挙人員に占める暴力団構成員等の比率は38.8%
- 年齢構成
 - ・ 30歳代の占める比率が最も高い。
 - ・ 大麻事犯は、81.8%が30歳代以下の年代
- 再犯者率が高い
 - ・ 薬物前科歴者は58%を超える。

R 1 薬物事犯全体の年齢構成



2 対策

(1) 取締りの強化

- 末端乱用者の検挙と突き上げ捜査の徹底
- 関係機関との連携強化

(2) 啓発活動

- 大学・高校等における薬物乱用防止講習
- 薬物再乱用防止に向けた情報提供

R 1 大麻事犯の年齢構成

